

資料3－8

実習先評価（企業・福祉事業所）

		企業			福祉事業所		実習先からのコメント
		かし既に い獲得 得能	ほ身卒 しに業 い付ま 能けで 力てに	れ必雇 る要用 能と継 力思続 わに	かし既に い獲得 得能	ほ身卒 しに業 い付ま 能けで 力てに	
依頼事業所数		26			30		
回収事業所数		15			19		
回収率		57.7%			63.3%		
回答の 選択肢	挨拶・返事	8	7	10	12	7	・笑顔で挨拶ができるとよい。（企業） ・相手に聞こえるトーンで話すことが大事。（企業） ・今後社会に適応していくには大事。（企業） ・コミュニケーションを取ろうとする意識がある方はどこの会社でも就労ができる。（企業） ・挨拶は社会に出たときに、周囲からの信頼を得られる一番大切なコミュニケーションだと感じる。しっかり挨拶ができ、周りの人と仲良く協力していける人になってほしい。（福祉）
	社会のルール	2	6	7	2	5	・今後社会に適応していくには大事。（企業）
	仕事への意欲	5	5	10	4	4	・仕事への意欲があることで仕事継続へ繋がる。（企業）
	指示理解	5	3	1	6	1	
	コミュニケーション能力	2	4	6	5	3	・不明な点についての質問を自ら率先的に行う。（福祉） ・集団生活になるので他者と活動することが楽しいと思えると楽しく通所できるのではないかな。（福祉） ・YES、NOや、好きな物、嫌いなものへの意志決定。（福祉） ・状況を正確に伝える力を付けられると更に良くなる。（福祉）
	作業の巧緻性	1	0	0	0	1	
	自力通勤	8	0	0	4	3	
	体力	1	2	2	6	3	
	責任感	4	0	3	0	1	・まず自分の任された場所は責任をもって対応して欲しい。（企業）
	協調性	0	2	4	2	7	・多くの人と支えて合いながらの業務になるので、他の人を思いやることができるようになってほしい。（企業） ・団体行動だと認識して行動してもらえないと一人では何もできない。（企業）
その他	1	3	2	2	6	・身だしなみ、生活習慣（夜更かししない）、趣味がある、気持ちの安定、といった私生活を安定させることが、社会人になってからしっかり仕事や自分と向き合える基盤になる。（企業） ・ミスをしたときの次のアクションをする力を磨けるとよい。（企業） ・メンタルの安定なくしては就労継続できないと思う。（企業） ・基本的な身の回りのことや食事のマナーが身に付いていると良い。（福祉） ・健康管理、生活リズムの安定、それらに係る家族等への連携が取りやすい状態が構築されていると助かる。（福祉） ・排泄に関する一連の事柄。（福祉） ・大きな集団の中でも取り組める適応力。（福祉）	

【回答の傾向から分析する今後の課題】

卒業までに身に付けてほしい能力として、「挨拶・返事」「仕事への意欲」「社会のルール」「コミュニケーション能力」「協調性」の項目が多く挙がっている。これは、雇用継続に必要と思われる能力についての回答とほぼ同じになっている。

具体的な意見として、「多くの人と支えて合いながらの業務になるので、他の人を思いやることができるようになってほしい（企業）」 「挨拶・仕事への意欲がある事で仕事継続へ繋がると思う。更にコミュニケーションを取ろうとする意識がある方はどこの会社でも就労ができると思う。（企業）」 「集団生活になるので他者と活動することが楽しいと思えること等があると当生活介護事業でも楽しく通所できるのではないかな（福祉事業所）」 「挨拶は社会に出たときに、周囲からの信頼を得られる一番大切なコミュニケーション。しっかり挨拶ができ、周りの人と仲良く協力していける人になってほしい。（福祉事業所）」といったことが挙げられている。

コミュニケーションについては、挨拶や返事、質問や報・連・相、お礼や謝罪、分からないときは自分から質問するなど、児童・生徒一人一人の段階で課題は考えられる。小学部から児童・生徒一人一人に合ったコミュニケーション力向上を考えていく。

仕事への意欲については、小学部からの係活動や進路指導に関する取り組みの中で、人の役に立つことの喜びから意欲につながるよう支援していく。また、趣味など興味のあることの幅を広げるなど、余暇時間をうまく使っていけることも、仕事への意欲につながるので、余暇の時間の使い方を保護者と連携して考えていく。働くことへの意欲は、より良い人間関係を築けるコミュニケーション能力も大きく関係している。集団生活の中で、仲間とコミュニケーションを図りながら協力する場面を設定し、共に取り組むことの楽しさや喜びを知る学習を考えていく。

社会のルールについては、周りの人と信頼関係を築くための大切な力である。人の気持ちを知り、相手を思う気持ちを学習することで、ルールやマナーの学習につなげていく。

これらのことを学校全体で共通理解を図り、小・中・高と連携した学習を考えていけるようにする。